

貸借対照表

(2020年12月31日現在)

(単位：千円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|----------------|------------------|------------------|--------------------|
| (資産の部) | | (負債の部) | |
| 流動資産 | 1,922,243 | 流動負債 | 1,493,903 |
| 現金及び預金 | 244,569 | 買掛金 | 34,854 |
| 売掛金 | 148,830 | 一年以内長期借入金 | 221,061 |
| たな卸資産 | 7,956 | 未払金 | 515,044 |
| 未収入金 | 1,539,999 | 未払法人税等 | 40,736 |
| その他 | 120,842 | 前受金 | 442,388 |
| 貸倒引当金 | △ 139,954 | 預り金 | 123,283 |
| 固定資産 | 1,119,350 | ポイント引当金 | 1,579 |
| 有形固定資産 | 183,093 | その他 | 114,956 |
| 建物附属設備 | 271,244 | 固定負債 | 1,167,824 |
| 車両運搬具 | 9,547 | 長期借入金 | 668,380 |
| 工具器具備品 | 28,119 | 長期未払金 | 7,716 |
| 減価償却累計額 | △ 125,818 | 預り保証金 | 348,401 |
| 無形固定資産 | 112,969 | 資産除去債務 | 143,326 |
| ソフトウェア | 28,336 | 合計 | 2,661,728 |
| のれん | 65,788 | (純資産の部) | |
| その他 | 18,845 | 株主資本 | 373,094 |
| 投資その他資産 | 823,287 | 資本金 | 1,179,413 |
| 投資有価証券 | 500 | 資本剰余金 | 1,292,221 |
| 関係会社株式 | 1,891 | 資本準備金 | 1,190,413 |
| 長期未収入金 | 248,701 | その他資本剰余金 | 101,808 |
| 敷金保証金 | 631,907 | 利益剰余金 | △ 2,095,539 |
| その他 | 72,045 | その他利益剰余金 | △ 2,095,539 |
| 長期貸倒引当金 | △ 131,758 | 自己株式 | △ 3,000 |
| | | 新株予約権 | 6,770 |
| | | 純資産合計 | 379,865 |
| 資産合計 | 3,041,593 | 負債及び純資産合計 | 3,041,593 |

損益計算書

(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位：千円)

| 科目 | 金額 | |
|--------------|---------|-----------|
| 売上高 | | 1,416,109 |
| 売上原価 | | 1,098,429 |
| 売上総利益 | | 317,680 |
| 販売費及び一般管理費 | | 906,406 |
| 営業損失 | | 588,726 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 667 | |
| 貸倒引当金戻入 | 9,557 | |
| 雑収入 | 40,547 | |
| その他 | 258 | 51,031 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 12,792 | |
| 相場準備費用 | 388,518 | |
| 雑損失 | 10,015 | |
| その他 | 518 | 411,845 |
| 経常損失 | | 949,541 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 772 | |
| 固定資産受贈益 | 16,104 | 16,876 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 34,613 | |
| 減損損失 | 55,922 | |
| 店舗閉鎖費用 | 2,560 | |
| 投資有価証券評価損 | 10,543 | |
| 関係会社株式評価損 | 26,475 | 130,115 |
| 税引前当期純損失 | | 1,062,780 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 16,871 |
| 当期純損失 | | 1,079,651 |

株主資本等変動計算書

(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位：千円)

| 残高及び変動事由 | 株主資本 | | | |
|---------------------|-----------|-----------|----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 |
| 当期首残高 | 595,100 | 606,100 | 101,808 | 707,908 |
| 誤謬の訂正による累積的影響額 | | | | |
| 遡及処理後当期首残高 | 595,100 | 606,100 | 101,808 | 707,908 |
| 当期変動額 | | | | |
| 当期純損失 | | | | |
| 新株の発行 | 584,313 | 584,313 | | 584,313 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | |
| 当期変動額計 | 584,313 | 584,313 | | 584,313 |
| 当期末残高 | 1,179,413 | 1,190,413 | 101,808 | 1,292,221 |

| 残高及び変動事由 | 株主資本 | | | |
|---------------------|-------------|-------------|---------|-------------|
| | 利益剰余金 | | 自己株式 | 株主資本合計 |
| | その他利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | |
| 当期首残高 | △ 791,552 | △ 791,552 | △ 3,000 | 508,456 |
| 誤謬の訂正による累積的影響額 | △ 224,336 | △ 224,336 | | △ 224,336 |
| 遡及処理後当期首残高 | △ 1,015,888 | △ 1,015,888 | △ 3,000 | 284,120 |
| 当期変動額 | | | | |
| 当期純損失 | △ 1,079,651 | △ 1,079,651 | | △ 1,079,651 |
| 新株の発行 | | | | 1,168,626 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | |
| 当期変動額計 | △ 1,079,651 | △ 1,079,651 | | 88,975 |
| 当期末残高 | △ 2,095,539 | △ 2,095,539 | △ 3,000 | 373,094 |

| 残高及び変動事由 | 新株予約権 | 純資産合計 |
|---------------------|-------|-------------|
| 当期首残高 | - | 508,456 |
| 誤謬の訂正による累積的影響額 | 20 | △ 224,316 |
| 遡及処理後当期首残高 | 20 | 284,140 |
| 当期変動額 | | |
| 当期純損失 | | △ 1,079,651 |
| 新株の発行 | | 1,168,626 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 6,750 | 6,750 |
| 当期変動額計 | 6,750 | 95,726 |
| 当期末残高 | 6,770 | 379,865 |

個別注記表

(重要な会計方針)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) その他有価証券

時価のないもの：移動平均法による原価法を採用しております。

(2) 棚卸資産

先入先出法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

償却方法、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物附属設備：定額法 7～15年

車両運搬具：定率法 6年

工具器具備品：定率法 2～10年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（3年、5年）に基づく定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、回収可能性を個別に検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) ポイント引当金

販売促進を目的とするポイント制度による将来のポイント利用に備えるため、過去の実績に基づき、将来使用されると見込まれる金額を計上しております。

4. のれんの償却方法

5年間の均等償却を行っております。

5. 消費税等の処理方法

税抜方式によっております。

(誤謬の訂正に関する注記)

当事業年度において、過年度における上場準備費用等の会計処理に誤りがあることが判明したため、誤謬の訂正を行いました。当該誤謬の訂正による累積的影響額は、当事業年度の期首の純資産の帳簿価額に反映されております。この結果、株主資本等変動計算書の期首残高は、利益剰余金が 224,336 千円減少し、新株予約権が 20 千円増加しております。

(追加情報)

当社が属する業界におきましては、新型コロナウイルスの影響により当事業年度以降について一時的な需要の低下が見込まれております。

このような状況は、感染の拡大が収束し、今後経済活動が再開するに伴い、2021 年にかけて回復していき、2022 年以降に当該感染症が拡大する前の水準に概ね回復していくものと仮定し、当社の会計上の見積り（固定資産の減損等）に反映しております。

しかしながら、この仮定は、今後の感染症の収束時期や各国の施策・経済情勢といった不確実性にも左右されることから、将来における実績は仮定に基づく見積りから乖離する可能性があります。

(貸借対照表に関する注記)

1. 有形固定資産の減価償却累計額 125,818 千円
上記減価償却累計額には、有形固定資産の減損損失累計額が含まれております。
2. 担保に供している資産及び担保に係る債務
 - (1) 担保に供している資産
定期預金 63,523 千円
 - (2) 担保に係る債務
一年以内長期借入金 147,141 千円
長期借入金 294,880 千円
442,021 千円
3. 保証債務
 - (1) 関係会社の取引金融機関等からの借入債務について、保証を行っております。
株式会社ベル・エポック・ウェルネス 21,220 千円
 - (2) 関係会社の店舗の家賃について、保証を行っております。
株式会社ベル・エポック・ウェルネス 1 店舗 3,940 千円
株式会社デコルテ・ウェルネス 1 店舗 2,288 千円
 - (3) 関係会社の前払給料立替サービスについて、保証を行っております。
株式会社メディロム・ヒューマン・リソース 極度額 1,500 千円
4. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務
短期金銭債権 278,302 千円
短期金銭債務 193,812 千円

5. 追加情報

貸借対照表に計上されている未収入金 1,539,999 千円のうち、1,168,626 千円は、2020 年 12 月 31 日に完了したナスダック市場での公募による資金調達額であります。当該 1,168,626 千円は、2021 年 1 月 4 日に入金完了しております。

なお、当該増資の効力発生日は 2020 年 12 月 31 日であります。

(損益計算書に関する注記)

1. 関係会社との取引高

(1) 営業取引による取引高

| | |
|----|------------|
| 収入 | 53,021 千円 |
| 支出 | 684,987 千円 |

(2) 営業取引以外の取引による取引高

| | |
|----|--------|
| 収入 | 558 千円 |
| 支出 | 305 千円 |

(株主資本等変動計算書に関する注記)

① 当事業年度末日における発行済株式の数

| | |
|-------|-------------|
| 普通株式 | 4,915,000 株 |
| A種類株式 | 1 株 |

② 当事業年度末日における自己株式の数

| | |
|------|----------|
| 普通株式 | 92,500 株 |
|------|----------|

③ 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額等

当事業年度中に支払った配当はありません。

(2) 当事業年度末日後に行う剰余金の配当

配当予定はありません。

④ 新株予約権に関する事項

当事業年度末日における新株予約権の目的となる株式の数

| | | |
|----------|------|------------------|
| 第4回新株予約権 | 普通株式 | 28,500 株 |
| 第5回新株予約権 | 普通株式 | 85,500 株 |
| 第6回新株予約権 | 普通株式 | 42,500 株 |
| 第7回新株予約権 | 普通株式 | 73,000 株 |
| 第8回新株予約権 | 普通株式 | 150,000 株 |
| 第9回新株予約権 | 普通株式 | <u>300,000 株</u> |
| | | <u>679,500 株</u> |

(金融商品に関する注記)

(1) 金融商品の状況に関する事項

① 金融商品に対する取組方針

当社は、設備投資計画及び営業キャッシュ・フローの状況を基に、取締役会で必要な資金調達を計画し、取締役会決議を経て銀行借入により運転資金を調達しております。

② 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である売掛金及び未収入金は、顧客の信用リスクに晒されております。

投資有価証券は、取引先企業との業務に関連する非上場株式等であり、発行会社の信用リスク及び市場リスクに晒されています。

貸付金は、貸付先に対する信用リスクに晒されております。

敷金保証金は、店舗の賃借に伴う敷金及び保証金であり、差入れ先の信用リスクに晒されております。

営業債務である買掛金は、支払期日にその支払いを実行できなくなる流動性リスクに晒されております。

借入金は運転資金であり、流動性リスクに晒されております。

預り保証金は、主にフランチャイズオーナーからの預り敷金であり、店舗の賃貸に伴い当社が差入れた敷金見合いの保証金であります。契約満了時に返還義務を負うものであり、流動性リスクに晒されております。

③ 金融商品のリスク管理体制

i. 信用リスク(取引先の契約不履行等に係るリスク)管理

当社は、営業債権及び貸付金について、各部署が主要な取引先の状況を定期的にモニタリングし、期日管理及び残高を管理するとともに、財務状況等の悪化等による回収懸念の早期把握や貸倒リスクの軽減を図っております。

ii. 市場リスクの管理

当社は、投資有価証券について、定期的に発行体(取引先企業)の財務状況等を把握しております。

iii. 流動性リスク(支払期日に支払いを実行できなくなるリスク)の管理

当社は、各部署からの報告に基づき月次で支払期日を把握し、返済計画を作成・更新するとともに、手許流動性の維持などにより流動性リスクを管理しております。

④ 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより当該価額が変動することがあります。

(2) 金融商品の時価

2020年12月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません（(注2)を参照ください。）

(単位：千円)

| 科目 | 貸借対照表計上額 | 時価 | 差額 |
|----------------|-----------|-----------|----------|
| (1) 現金及び預金 | 244,569 | 244,569 | - |
| (2) 売掛金(※1) | 145,332 | 145,332 | - |
| (3) 未収入金(※1) | 1,333,509 | 1,333,509 | - |
| (4) 長期未収入金(※1) | 116,942 | 116,942 | - |
| 資産計 | 1,840,354 | 1,840,354 | - |
| (1) 買掛金 | 34,854 | 34,854 | - |
| (2) 未払金 | 424,603 | 424,603 | - |
| (3) 長期借入金(※2) | 889,441 | 865,560 | △ 23,880 |
| 負債計 | 1,348,899 | 1,325,018 | △ 23,880 |

※1 貸倒引当金を控除しております。

※2 1年以内に返済される長期借入金も含めて表示しております。

(注1)．金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

資産

(1)現金及び預金、(2)売掛金、(3)未収入金

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(4)長期未収入金

回収見込額等に基づいて貸倒見積額を算定しているため、時価は決算日における貸借対照表価額から現在の貸倒見積額を控除した金額と近似しており、当該価額を時価としております。

負債

(1)買掛金、(2)未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3)長期借入金

長期借入金の時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

(注2)．時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品の貸借対照表計上額

(単位：千円)

| 区分 | 貸借対照表計上額 |
|--------|----------|
| 投資有価証券 | 500 |
| 関係会社株式 | 1,891 |
| 敷金保証金 | 631,907 |
| 預り保証金 | 348,401 |

これらについては市場価格がなく、かつ、将来キャッシュ・フローを見積るには過大なコストを要すると見込まれます。したがって、時価を把握することが極めて困難と認められるものであります。

(資産除去債務に関する注記)

1. 当該資産除去債務の概要

本社及びリラクカレッジ、直営店の不動産賃貸借契約に伴う原状回復費用等であります。

2. 当該資産除去債務の金額の算定方法

本社及びリラクカレッジ、直営店のうち、Re. Ra. Ku PRO ランニング竹橋皇居前店は工事施工業者から撤去費用の見積り入手し、その見積金額に基づき算定した原状回復費として認識しました。その他の直営店については、過去の実際発生した原状回復費用のデータを参考とし合理的な見積額と坪数を用いて算定しました。

3. 当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減は以下となります。

| | |
|-------------------|------------|
| 期首残高 | 93,089 千円 |
| 直営店の賃貸借契約締結に伴う増加額 | 65,101 千円 |
| 時の経過による調整額 | 214 千円 |
| 資産除去債務の履行等による減少額 | 15,078 千円 |
| 期末残高 | 143,326 千円 |

(減損損失に関する注記)

(単位：千円)

| 場所 | 用途 | 種類 | 減損損失 |
|---------------------------|-------|--------|--------|
| Re. Ra. Ku西武新宿ペペ店 | 事業用資産 | 建物附属設備 | 8,902 |
| Re. Ra. Ku新宿東口店 | 事業用資産 | 建物附属設備 | 448 |
| Re. Ra. Ku新宿店 | 事業用資産 | 建物附属設備 | 1,275 |
| Re. Ra. Ku PROランニング竹橋皇居前店 | 事業用資産 | 建物附属設備 | 45,296 |

当社は店舗ごとに独立したキャッシュ・フローを生み出す最小単位でグルーピングしており、本社は共用資産としております。

減損損失を計上した資産グループについては収益性の低下により、資産の回収可能性が見込めなくなったことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を固定資産の減損損失として55,922千円を計上しております。

なお、回収可能価額は、使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローを事業リスクを織り込んだ割引率によって割引いて算定しております。

(税効果に関する注記)

繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

| | |
|----------|------------------|
| 貸倒引当金 | 83,198千円 |
| 建物附属設備 | 26,506千円 |
| 関係会社株式 | 14,741千円 |
| 未払事業税 | 3,653千円 |
| その他 | 51,193千円 |
| 繰越欠損金 | <u>431,605千円</u> |
| 繰延税金資産小計 | <u>610,899千円</u> |
| 評価性引当額 | <u>610,899千円</u> |
| 繰延税金資産合計 | －千円 |

(関連当事者との取引に関する注記)

1. 子会社及び関連会社等

(単位：千円)

| 種類 | 会社等の名称 | 議決権等の所有割合 | 取引内容 | 取引金額 | 科目 | 期末残高 |
|-----|----------------------|------------|--------------------|---------|--------------------|------------------------|
| 子会社 | 株式会社メディロム・ヒューマン・リソース | 直接 100% | 債務保証 | - | | - |
| | | | 店舗運営の支援業務及び事務業務の受託 | 9,410 | 未収入金 | 10,351 |
| | | | 店舗運営の委託 | 614,373 | 立替金 | 9,539 |
| | | | 出向負担金支払 | 50,793 | 未払金 預り金 | 70,210 103,372 |
| 子会社 | 株式会社ベル・エポック・ウェルネス | 直接 100% | 債務保証 | - | | - |
| | | | 資金の貸付 | 36,000 | 短期貸付金 | 36,000 |
| | | | 資金の返済 | 63,000 | | - |
| | | | 店舗運営の支援業務及び事務業務の受託 | 21,542 | 売掛金 | 2,270 |
| | | | 利息の受取 | 211 | 未収入金 | 111,286 |
| | | | 利息の支払 | 305 | 立替金 未払金 | 10,788 2,556 |
| 子会社 | 株式会社ジョイハンズ・ウェルネス | 直接 100% | 店舗運営の支援業務及び事務業務の受託 | 16,422 | 売掛金 | 190 |
| | | | 利息の受取 | 155 | 未収入金 立替金 未払金 | 64,057 1,489 623 |
| | | | | | | |
| 子会社 | 株式会社デコルテ・ウェルネス | 直接 100% | 債務保証 | - | | - |
| | | | 資金の貸付 | 10,000 | 短期貸付金 | 10,000 |
| | | | 店舗運営の支援業務及び事務業務の受託 | 5,645 | 未収入金 | 19,710 |
| | | | 店舗運営の委託 | 19,821 | 立替金 | 2,618 |
| | | | 利息の受取 | 191 | 未払金 | 17,049 |
| | | | | | | |

(注)1. 株式会社メディロム・ヒューマン・リソースのための債務保証は前払給料立替サービスについて債務保証を行ったものであります。株式会社ベル・エポック・ウェルネスのための債務保証は、銀行借入及び店舗の家賃について債務保証を行ったものであります。株式会社デコルテ・ウェルネスのための債務保証は、店舗の家賃について債務保証を行ったものであります。

- (注)2. 資金の貸付については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。
- (注)3. 店舗運営の支援業務及び事務業務の受託及び店舗業務の委託の取引条件につきましては、市場価格等を勘案して決定しております。
- (注)4. 関係会社への債権等に対し、合計 133,408 千円の貸倒引当金を計上しております。また、当事業年度において合計 99,856 千円の貸倒引当金繰入を計上しております。

2. 役員及び個人主要株主等

(単位：千円)

| 種類 | 氏名 | 議決権等の所有割合 | 関連当事者との関係 | 取引内容 | 取引金額 | 科目 | 期末残高 |
|----|------|--------------|-----------|-------|------|----|------|
| 役員 | 江口康二 | 直接 39.09% | 当社代表取締役 | 被債務保証 | - | | - |

(注)債務保証は、当社の銀行借入及び店舗の家賃について受けたものであります。

(1株当たり情報に関する注記)

- 1株当たりの純資産額 77円37銭
- 1株当たりの当期純損失 268円26銭

(注)当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象に関する注記)

重要な新株の発行

2020年12月29日に公開した新規株式に関連して付与されたオーバーアロットメント分の引受人による権利行使に基づき、米国ニューヨーク時間2021年2月1日に、追加にて60,000の1ADSあたり15.00米ドルの公募価格での登録(上場)を完了しました。これによって、当社は、引受割引と手数料の差し引き後、837,000米ドル(87,642千円、1ドル104.71円換算)の追加の資金を調達することになります。

本募集による調達額は、顧客基盤の拡大や新サービスの開発・販売のための投資、買収、戦略的提携を含む当社の運転資金及び一般的な事業活動に使用する予定であります。